

# FTI News

## 森林 研修所 ニュース

4  
令和2年  
No.92

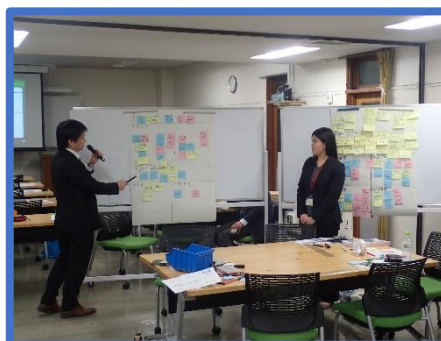
林野庁 森林技術総合研修所 広報誌  
Forest Training Institute of the Forestry Agency

特集  
2020

## 研修実施計画 研修ガイド

### 研修紹介

森林計画（基礎）  
山村振興・地方創生推進  
高性能林業機械（安全指導・後期）  
木材産業・木材利用（実践）



番号	研修の名称	主な内容	対象者	定員	実施時期	森林総合監理士 フォローアップ研修	備考
1	森林計画(基礎)	森林計画制度の体系 森林計画作成(ゾーニング)演習	地方公共団体、森林管理局・署(担当経験が概ね3年以下)等	35	9/14 ~ 9/18		
2	森林計画 (森林調査・計画策定)	最新の森林調査の技術 森林計画量算定等の実務	地方公共団体、森林管理局・署(担当経験が概ね2年以上、森林計画(基礎)研修修了者)等	25	10/12 ~ 10/16		
3	森林立地・施業技術	土壌の調査手法 立地環境と造林、森林管理の関係	地方公共団体、森林管理局・署(担当経験が概ね2年以上)、森林総合監理士等	25	10/12 ~ 10/16	●	山梨県
4	生物多様性保全	生物多様性をめぐる動き 森林生態系と生物多様性 生物の多様性を豊かにする森林管理	地方公共団体、森林管理局・署、森林総合監理士等	21	11/9 ~ 11/13	●	山梨県
5	森林環境教育	森林環境教育の現状 森林環境教育等の課題と推進方策 森林環境教育等の企画と実践	地方公共団体、森林管理局・署等	24	10/5 ~ 10/9		
6	山村振興・地方創生推進	山村と都市や企業等の連携 地域資源を活用した地域づくり 企画立案実習	地方公共団体、森林管理局・署等	20	2/8 ~ 2/10		
7	特用林産	特用林産物に関する知識、生産技術 特用林産物を活用した地域振興の取組	地方公共団体等	20	11/9 ~ 11/13		山梨県
8	森林整備事業	森林整備事業の概要 リモートセンシング技術の活用等の新たな取組 先進的な造林事業体の経営と取組、継続的に利用できる路網整備	地方公共団体、森林管理局・署(初任レベル)等	35	5/11 ~ 5/14		
9	林道技術者育成 1	林道の設計に関する知識、技術の概要 林道の計画・災害復旧に係る調査・測量・設計	地方公共団体、森林管理局・署(担当経験が概ね3年以下、通信研修(治山・林道)修了者)等	20	6/8 ~ 6/19		山梨県
10	林道技術者育成 2	林道の設計に関する知識、技術の概要 林道の計画・災害復旧に係る調査・測量・設計	地方公共団体、森林管理局・署(担当経験が概ね3年以下、通信研修(治山・林道)修了者)等	20	7/6 ~ 7/17		山梨県
11	林道技術者育成 3	林道の設計に関する知識、技術の概要 林道の計画・災害復旧に係る調査・測量・設計	地方公共団体、森林管理局・署(担当経験が概ね3年以下、通信研修(治山・林道)修了者)等	20	9/7 ~ 9/18		山梨県
12	林道路網計画 1	林道路網の計画 林道路網計画作成の技術的課題 路網計画に関する現地検討	地方公共団体、森林管理局・署(初任レベルを除く)、森林総合監理士等	25	5/25 ~ 5/29	●	山梨県
13	林道路網計画 2	林道路網の計画 林道路網計画作成の技術的課題 路網計画に関する現地検討	地方公共団体、森林管理局・署(初任レベルを除く)、森林総合監理士等	25	9/28 ~ 10/2	●	山梨県
14	森林作業道 作設指導者・監督者	森林作業道の作設方法及び施工管理 路体構造調査、作設路線の評価	地方公共団体、森林管理局・署、森林総合監理士等	27	10/19 ~ 10/23	●	山梨県
15	治山(基礎) 1	治山事業の概要、治山事業の実務 調査・計画・設計、渓流測量、工法、点検、診断等(総合演習)	地方公共団体、森林管理局・署(担当経験が概ね3年以下、通信研修(治山・林道)修了者)等	35	5/26 ~ 6/5		山梨県
16	治山(基礎) 2	治山事業の概要、治山事業の実務 調査・計画・設計、渓流測量、工法、点検、診断等(総合演習)	地方公共団体、森林管理局・署(担当経験が概ね3年以下、通信研修(治山・林道)修了者)等	35	6/23 ~ 7/3		山梨県
17	治山(設計) 1	治山事業の概要、災害復旧 治山調査・測量、設計の実践	地方公共団体、森林管理局・署(担当経験が概ね2~5年以下で治山(基礎)研修修了者)等	27	9/28 ~ 10/9		
18	治山(設計) 2	治山事業の概要、災害復旧 治山調査・測量、設計の実践	地方公共団体、森林管理局・署(担当経験が概ね2~5年以下で治山(基礎)研修修了者)等	27	10/19 ~ 10/30		
19	治山(地すべり)	地すべり防止事業を取り巻く新たな動き、先進的知識・技術 地すべり防止技術向上の専門的技術、調査、計画、設計等の実務	地方公共団体、森林管理局・署(担当経験が概ね3年以上)等	30	11/16 ~ 11/20		
20	保安林及び林地開発許可 1	保安林制度、林地開発許可制度について 保安林指定・解除及び指定施業要件変更の実務	地方公共団体、森林管理局・署(初任レベル)等	54	6/1 ~ 6/4		
21	保安林及び林地開発許可 2	保安林制度、林地開発許可制度について 保安林指定・解除及び指定施業要件変更の実務	地方公共団体、森林管理局・署(初任レベル)等	54	11/24 ~ 11/27		
22	森林保護管理(病虫害)	森林保護行政の現状と課題 森林病虫害の現状と防除対策	地方公共団体、森林管理局・署等	32	7/13 ~ 7/16		
23	森林保護管理(獣害)	野生鳥獣管理を巡る現状と課題、保護管理と森林施業 シカの痕跡と被害、くくりわな製作とわな設置・捕獲実習等	地方公共団体、森林管理局・署、森林総合監理士等	30	11/16 ~ 11/20	●	
24	森林総合監理士育成 (前期) 1	林業ICT化の意義と手法、路網整備、作業システム コミュニケーションとプレゼンテーション演習	地方公共団体、森林管理局・署、林業事業者等※後 期研修受講予定者	45	6/15 ~ 6/19		
25	森林総合監理士育成 (前期) 2	林業ICT化の意義と手法、路網整備、作業システム コミュニケーションとプレゼンテーション演習	地方公共団体、森林管理局・署、林業事業者等※後 期研修受講予定者	45	6/29 ~ 7/3		
26	森林総合監理士育成 (後期) 1	森林施業、路網、伐採計画の作成演習 コミュニケーションとプレゼンテーション演習	地方公共団体、森林管理局・署、林業事業者職員等 ※前期研修修了者	30	9/8 ~ 9/11		九州局
27	森林総合監理士育成 (後期) 2	森林施業、路網、伐採計画の作成演習 コミュニケーションとプレゼンテーション演習	地方公共団体、森林管理局・署、林業事業者職員等 ※前期研修修了者	30	9/15 ~ 9/18		北海道局
28	森林総合監理士育成 (後期) 3	森林施業、路網、伐採計画の作成演習 コミュニケーションとプレゼンテーション演習	地方公共団体、森林管理局・署、林業事業者職員等 ※前期研修修了者	30	9/29 ~ 10/2		関東局
29	林業金融実務・税制	林業金融制度の意義と実際 林業税制の意義と実際	地方公共団体	47	7/20 ~ 7/22		
30	森林組合指導担当基礎	森林組合の現状と課題、コンプライアンスの確立 森林組合の経営状況の見方	都道府県の森林組合指導担当	35	6/22 ~ 6/25		
31	チェーンソー伐木造材技術 (初級)	伐木等の業務に係る安全衛生特別教育 林業労働災害の現状と特徴、ISO規格による振動管理	地方公共団体等	12	7/6 ~ 7/10		林業機械化 センター
32	チェーンソー伐木造材技術 (上級)	振動障害の原因、予防、健康障害を防止する目立て、作業の安全 チェーンソーを用いて行う伐木等の業務従事者安全衛生教育を含む	地方公共団体等(安衛則36条の8特別教育修了者)	12	11/16 ~ 11/20		林業機械化 センター
33	チェーンソー伐木造材技術 (安全指導)	林業労働における安全指導及びリスクアセスメント 伐木等作業を通じた安全指導の方法等	地方公共団体、森林管理局・署(森林官、係長級以上)等(安衛則36条の8特別教育修了者)	12	11/24 ~ 11/27		林業機械化 センター
34	チェーンソー・刈払機 1	伐木等の業務に係る安全衛生特別教育 刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育	森林管理局・署等	12	6/8 ~ 6/12		林業機械化 センター
35	チェーンソー・刈払機 2	伐木等の業務に係る安全衛生特別教育 刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育	森林管理局・署等	12	7/13 ~ 7/17		林業機械化 センター
36	高性能林業機械 (女性担当者)	高性能林業機械の特性と操作、安全な作業方法 森林整備の現場で活躍する女性たち(事例紹介)	地方公共団体(初任レベル、操作経験の少ない者)、森林管理局・署等の女性	9	9/8 ~ 9/11		林業機械化 センター
37	高性能林業機械(基礎) 1	高性能林業機械の特性と操作、安全な作業方法 高性能林業機械を使用した安全かつ効率的な作業方法	地方公共団体(初任レベル、操作経験の少ない者)、森林管理局・署、森林総合監理士等	9	9/14 ~ 9/18	●	林業機械化 センター
38	高性能林業機械(基礎) 2	高性能林業機械の特性と操作、安全な作業方法 高性能林業機械を使用した安全かつ効率的な作業方法	地方公共団体(初任レベル、操作経験の少ない者)、森林管理局・署、森林総合監理士等	9	10/12 ~ 10/16	●	林業機械化 センター
39	高性能林業機械 (林業大学校指導者)	高性能林業機械の安全かつ効率的な作業方法、指導のポイント 林業大学校等の取組事例紹介及び意見交換	林業大学校指導者等	9	8/17 ~ 8/21		林業機械化 センター



番号	研修の名称	主な内容	対象者	定員	実施時期	森林総合監理士 フォローアップ研修	備考
40	高性能林業機械 (安全指導・前期) 1	車両系木材伐出機械等の運転の業務に係る安全衛生特別教育 高性能林業機械の作業におけるリスクアセスメント	地方公共団体(担当経験が概ね3年以上で特別教育 講師等になり得る者)、林業大学校指導者、森林 管理局・署等※後期研修受講予定者	9	9/28 ~ 10/2		林業機械化 センター
41	高性能林業機械 (安全指導・前期) 2	車両系木材伐出機械等の運転の業務に係る安全衛生特別教育 高性能林業機械の作業におけるリスクアセスメント	地方公共団体(担当経験が概ね3年以上で特別教育 講師等になり得る者)、林業大学校指導者、森林 管理局・署等※後期研修受講予定者	9	10/19 ~ 10/23		林業機械化 センター
42	高性能林業機械 (安全指導・後期)	車両系木材伐出機械等の運転の業務に係る安全衛生特別教育 車両系木材伐出機械等の法整備の背景、経緯、作業の普及と安全	地方公共団体(担当経験が概ね3年以上で特別教育 講師等になり得る者)、林業大学校指導者、森林 管理局・署等※前期研修修了者	18	1/21 ~ 1/22		林業機械化 センター
43	高性能林業機械 作業システム(生産性)	生産性の把握に関する基礎知識 生産性の把握、算出、評価	地方公共団体、森林管理局・署(森林官、係長級)等	12	11/9 ~ 11/13		林業機械化 センター
44	森林作業道(基礎技術)	車両系建設機械(整地・運搬・積み込み用及び掘削用)運転技能講習 森林作業道作設に必要な基礎的な知識及び技術、試験研究成果	地方公共団体(初任レベル)	10	6/22 ~ 7/3		林業機械化 センター
45	森林作業道(作設技術)	森林作業道の作設に必要な知識及び技術 森林作業道の作設指導のポイント、作設箇所の検討・検証	地方公共団体(運転技能講習修了者レベル)、森林 管理局・署(森林官、係長級以上)等	9	10/5 ~ 10/9		林業機械化 センター
46	森林作業道(改修技術)	森林作業道の改修事例と改修ポイント 森林作業道の改修方法の検討、改修実践、評価	地方公共団体(担当経験が3年以上で運転技能講習 修了者)、森林管理局・署(森林官、係長級)、民 間事業者職員等	9	10/26 ~ 10/30		林業機械化 センター
47	集材架線	機械集材装置の運転の業務に係る安全衛生特別教育 架設・撤去作業の実践、ワイヤロープの取扱い、集材架線の設計	地方公共団体、森林管理局・署(森林官、係長級以上)、 森林総合監理士、林業大学校指導者等	15	5/26 ~ 6/5	●	林業機械化 センター
48	林業機械体験	チェーンソーの体験学習、高性能林業機械の体験学習 林野行政の役割と林業技術者への期待	大学生(林業関係学会会員)等	20	9/23 ~ 9/25		林業機械化 センター
49	木材産業・木材利用 (基礎知識)	木材産業・木材利用の現状と課題 木材の加工・流通、木造建築、住宅資材の基礎知識	地方公共団体、森林管理局・署(初任レベル)等	35	12/7 ~ 12/11		山梨県
50	木材産業・木材利用 (実践・輸出戦略)	木材産業・木材利用の現状と課題、木材の加工・流通 住宅資材、技術開発、大規模木造建築、木材利用推進 木材輸出を巡る最近の情勢、輸出促進の戦略	地方公共団体、森林管理局・署(初任レベルを除 く)、森林総合監理士等	40	1/25 ~ 1/29	●	
51	木材産業・木材利用 (先進事例学習)	木材の加工・流通に関する動向 木材のカスタード利用 木材市場、CLT工場、バイオマス発電施設	地方公共団体、森林管理局・署、森林総合監理士等	28	2/1 ~ 2/5	●	岡山県
52	木質バイオマス利用	最新の木質バイオマスの多様な利用の現状と課題 海外で普及定着している木質バイオマスの多様な利用 国内での先進的な取組事例、地産地消に向けた取組	地方公共団体、森林管理局・署、森林総合監理士等	30	1/18 ~ 1/21	●	
53	公共建築物等木材利用促進	建築基準法の解説・木造技術の最近の動き 中大規模木造の木質系材料の知識、構造設計の基礎	地方公共団体等で公共建築物等の構造設計・発注 等に係る者	40	9/7 ~ 9/11		
54	市町村林務担当者(基礎)	市町村担当者に必要な森林・林業の基礎知識、施策の概要 森林・林業の構想としての市町村森林整備計画の意義	市町村(初任レベル)	30	7/6 ~ 7/10		
55	市町村林務担当者(実務)	林地台帳制度、森林境界明確化 施策の集約化、森林経営計画の策定	市町村(初任レベルを除く)等	47	5/18 ~ 5/22		
56	市町村林務担当者 (地域林政アドバイザー)	市町村に係る森林・林業施策、森林計画制度、森林法令 森林経営、森林整備、森林情報の活用、アドバイザーの事例紹介	市町村林務行政のアドバイザーになり得る者	54	6/8 ~ 6/11		地域林政アドバイザー 活用推進を目的とする 林野行政実務に関する研修
57	森林経営管理制度の実務 1	森林経営管理法の概要、森林経営管理制度に係る市町村の事務 市町村が主体となった森林の経営管理の集積・集約事例	市町村等(地域林政アドバイザー等や都道府県職 員を含む)	47	7/20 ~ 7/22		
58	森林経営管理制度の実務 2	森林経営管理法の概要、森林経営管理制度に係る市町村の事務 市町村が主体となった森林の経営管理の集積・集約事例	市町村等(地域林政アドバイザー等や都道府県職 員を含む)	47	1/12 ~ 1/14		
59	総合職新採用	心構え・規範、森林・林業・木材産業の現状、現場実務の技術	令和2年度国家公務員総合職採用職員	17	4/20 ~ 4/24		中止
60	一般職(大卒程度)新採用	心構え・規範、森林・林業・木材産業の現状、現場実務の技術	令和2年度国家公務員一般職(大卒程度)採用職 員	79	4/6 ~ 4/10		中止
61	一般職(高卒者)新採用	心構え・規範、森林・林業・木材産業の現状、現場実務の技術	令和2年度国家公務員一般職(高卒者)採用職員	36	4/13 ~ 4/17		中止
62	研修企画運営実務 (先進事例学習)	林業大学校等の企画運営 技術者育成の教育企画運営手法 学生募集、就職等学生指導実務	地方公共団体、林野庁・森林管理局・署の研修実 務・人材育成担当、林業大学校・林業高校等	50	10/26 ~ 10/30		岐阜県
63	人材育成担当者実践	集合研修の意義 研修デザインの理論と手法 研修アクティビティの理論と手法	地方公共団体、森林管理局・署(研修、人材育成担 当)等	20	9/23 ~ 9/25		
64	無人航空機活用技術 1	ドローンの関係法令、ドローンの飛行技術 ドローンの活用例、画像データ等の処理	地方公共団体、森林管理局・署(初級者レベル)等	18	10/26 ~ 10/29		山梨県
65	無人航空機活用技術 2	ドローンの関係法令、ドローンの飛行技術 ドローンの活用例、画像データ等の処理	地方公共団体、森林管理局・署(初級者レベル)等	18	11/24 ~ 11/27		山梨県
66	持続可能な森林経営のた めの政策立案能力の強化	持続可能な森林経営の概論、森林資源モニタリング手法 森林計画の立案手法、行動計画書に基づいた提案書の作成と評価	海外の中央政府・地方自治体の森林経営・保全担 当行政官	12	10/1 ~ 10/30		
67	署長	国有林野及び地域の森林の管理経営 内部組織の管理・外部対応能力の向上、ICT林業の実際	森林管理署長等に初めて任用された者	20	5/19 ~ 5/22		
68	行政能力向上(前期)	森林・林業・木材産業施策の動向、国有林の役割 コミュニケーション、プレゼンテーション、企画力等の演習	林野庁、森林管理局・署等(計画的に人事配置され た者)	16	4/20 ~ 4/24		延期
69	行政能力向上(後期)	森林・林業・木材産業施策の動向等、業務成果発表 ファンリテーション、プレゼンテーション等の演習	林野庁、森林管理局・署等 (H30行政能力向上(前期)研修修了者)	14	2/15 ~ 2/19		
70	発注者綱紀保持	入札制度、談合、経済法等、リスク管理とコンプライアンス 他省庁や地方公共団体における先進的取組事例研究	森林管理局・署等の契約発注担当	28	1/12 ~ 1/14		
71	健康安全管理	健康安全管理体制の強化 健康安全管理指導能力の向上	森林管理局の安全衛生係長、局・署等の健康・安全 衛生管理担当、健康・安全管理の実務的指導担当 (担当経験が概ね2年以下)等	21	5/11 ~ 5/14		
72	民国連携推進	民有林施策・木材産業施策の概要、民国連携の取組 生物多様性保全に配慮した管理経営、合意形成の技術	森林管理署等	21	2/1 ~ 2/5		
73	木材安定供給(生産・販売)	政策としての生産・販売事業、木材の加工・流通と販売 国有林材における安定供給等の取組	森林管理局・署の収獲・生産・販売担当(担当経験 が概ね3年以下)等	21	11/30 ~ 12/4		
74	情報処理 (森林GIS技術者養成)	森林GISの高度な利用 国有林GISを活用した業務改善、トラブル解決法	森林管理局・署のGIS担当等	21	1/25 ~ 1/28		
75	国有林野管理等の実務	国有林野管理・処分業務の概要及び実務 国有林野の鑑定・利活用業務の実務等	森林管理局・署(局鑑定官、署財産管理、計画処 分、貸付担当)等	21	1/18 ~ 1/22		
76	治山(ICT活用)	近年の災害発生状況(流木被害、火山噴火等)と対策 最新の調査手法、調査結果を活用した治山事業計画策定	森林管理局・署(治山(基礎)研修修了者)等	15	12/7 ~ 12/11		
77	無人航空機活用技術 (国有林)	ドローンの飛行技術、画像データの処理の基本 業務分野別の活用演習、先進的な事例・討議	森林管理局・署(森林情報指導官、森林情報管理 官)等	21	11/30 ~ 12/4		
78	通信研修(森林活用)	国有財産制度、国有林野管理、分収林制度に関する基礎知識	森林管理局・署等	40	6/1 ~ 2/28		
79	通信研修(治山・林道)	治山・林道に関する基礎知識	森林管理局・署等	50	6/1 ~ 2/28		

※研修の詳細は森林技術総合研修所WEBサイトに掲載しています。http://www.rinya.maff.go.jp/j/kensyuu/kensyu.html



# 研修ガイド2020

## 2020年度 研修計画の特長

4コースを新設し、本所61&林業機械化センター18の79コースを計画しました。

NEW

### チェーンソー伐木造材技術(安全指導)

林業労働災害の死亡災害は約6割が伐木造材作業中に発生しているため、リスクアセスメントを踏まえた的確な安全指導ができる者を育成します。

NEW

### 人材育成担当者実践

研修担当者や講師を務める職員に集合研修の意義や研修デザイン・アクティビティの理論・手法を習得させ、効果的な研修等を実施する者を育成します。

NEW

### 森林経営管理制度の実務

年1回から増設し、7・1月の2回で開講します。

NEW

### 無人航空機活用(国有林)

国有林におけるドローンを活用した管理経営を推進します。

i

### 受講しやすくしました

- ✓ 森林環境教育 【日数】4→5日に充実
- ✓ 森林整備事業 【日数】5→4日
- ✓ 林道路網計画 【名称】林業専用道技術者から変更
- ✓ 林業金融実務・税制 【日数】4→3日
- ✓ 木材産業・木材利用(実践・輸出戦略)  
【名称】実践コースと輸出戦略コースを統合
- ✓ 市町村林務担当者(地域林政アドバイザー)  
【日数】5→4日

i

### 2020年の注目コース

- ✓ 生物多様性保全  
近年、SDGsやESG投資が注目される中、2020年はポスト愛知目標が採択予定であり、生物多様性保全に配慮した森林管理の必要性がより一層高まります。今後に向けて受講をお勧めします。



## 森林技術総合研修所の6つの特色

1

### 時代のニーズに応える研修

森林技術総合研修所は、森林・林業・木材産業に関する唯一の国の研修機関です。2020年は現在地に移転して50周年、名称が「森林技術総合研修所」となって25周年を迎えます。今後とも時代のニーズを見据えながらより質の高い研修を提供し、高度な技術を駆使して諸課題の解決に当たる人材を育成します。

2

### 質の高い講師



第一線で活躍する大学・企業等の人材を、講師として全国から招聘しています。

先導的な研究を行う森林総合研究所の研究者や、各施策担当の林野本庁職員が講師を務めることで、最新情勢を踏まえた講義を実現しています。

3

### 基礎習得・継続研鑽をサポート

業務経験や習熟度を目安に【基礎～実務・実践レベル】の研修コースを設置することで、若手をはじめ、継続研鑽に努める中堅・ベテラン職員からも満足度等で高い評価を得ています。

森林総合監理士への継続教育支援を推進するため、森林総合監理士フォローアップ研修を実施しています。

4

### 市町村林務行政への技術的支援

地域に最も密着した行政機関である市町村職員の育成に力を入れています。

- 市町村林務担当者(基礎) 市町村林務担当者(実務)
- 市町村林務担当者(地域林政アドバイザー)
- 森林経営管理制度の実務1・2

お勧め研修

- 森林環境教育
- 山村振興・地方創生推進
- 木材産業・木材利用(先進事例学習)
- 木質バイオマス

等

5

### 集合研修



集合研修だからこそできる「現地実習・演習・グループワーク」「講師との対話」「研修生同士のコミュニケーション」をデザインし、研修の効果を高めています。

さまざまな地域・年齢の研修生同士が宿舍生活を通じて、人的ネットワークを構築しています。

(令和元年度研修修了者 | 1,717人)

6

### 宿泊施設・食堂を完備

集中して研修に取り組み、研修生同士の交流が図られるよう、宿泊室・食堂・談話室などを併設しています。

- !! 食事は味・量とも多くの研修生から好評!
- zz 2020.3に宿泊室(本所)のエアコンを更新!



## 研修紹介

# 森林計画（基礎）研修

➤ 教務指導官 栗山 喬行

## 研修データ

実施時期	12月9～13日（5日間）
研修生	44名（地方公共団体、林野庁）

森林計画制度は、森林の適正な利用を図りながら森林整備が計画的に進められるよう、国、都道府県、市町村がそれぞれ上位計画に即して森林整備方法等の指針を示し、森林所有者等による森林施業を適切な方向に誘導するための制度です。

この制度を的確に運用できるようにするため、本研修では、森林計画制度を体系的に学ぶとともに、市町村森林整備計画策定支援のためのゾーニング（森林の区域毎に示す施業方法の基準設定）演習を行いました。

研修初日は、東京大学大学院の白石則彦教授から、戦後から今日までの日本の経済・森林・林業に関する主な出来事を交えながら、森林計画制度の大局的な流れ、役割、今後の課題等について講義を受けました。研修生からは、「森林計画制度の時代背景や今後の林業のあり方を学べ勉強になった」といった声が寄せられました。

2日目と3日目は、林野庁講師から、①森林計画制度と地域森林計画の概要、②市町村森林整備計画の概要、③森林経営計画作成の考え方、④国有林のゾーニング、⑤森林整備事業の概要について講義を受けました。これらの講義は、今後、森林計画制度

を現場レベルで運用していくために有効となる知識を付与するものであり、森林整備事業の概要についても「森林経営計画と密接に連携する内容であり、今後の業務に大いに役立つ」といった声が寄せられました。

4日目は、合自然的・長期的な視点に立って森林・林業の将来構想を策定する能力を身に付けるため、1,500ha程度の民有林において、目標林型に誘導するための施業方法を林班毎に設定するゾーニング演習を7班に分かれて行いました。

そして最終日は、前日に行ったゾーニング演習の結果発表を行い、森林総合研究所の宮本和樹主任研究員から、各班が設定したゾーニング結果に対する講評と「合自然性」「経済性」等に基づくゾーニングの考え方について総括的な講義を受けました。研修生からは、「様々な考え方があり大変参考になった」「本研修のまとめとして非常に有意義な時間だった」といった声が多く寄せられました。

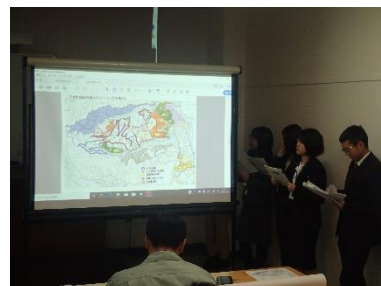
森林計画制度は、地域の森林を経済活動を行いながら望ましい姿に導くための基本となる施策です。研修の成果が、少しでも地域の森林・林業の発展に役立つことになれば幸いです。



白石則彦教授による講義



グループ討議の様子



班毎に行ったゾーニング結果の発表

## 研修風景

### 木材産業・木材利用

（基礎知識）研修 12月2～6日





## 研修紹介

# 山村振興・地方創生推進 研修

➤ 教務指導官 沖 義裕

「うさぎ追し彼の山 小鮒釣りし彼の川  
童謡ふるさと（高野辰之作詞）の一節です。山村は人々の郷愁を誘うようです。ただ、それだけではなく山村に人が住み、暮らしの中で森林に関わることで、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全等、重要な役割を果たしています。しかし現在では、人口減少や高齢化等で森林の管理が十分に行えないなどの問題が深刻化しています。

そこで山村振興を図るため、その企画・立案ができる者を育成する研修を行いました。林野庁森林利用課藤岡義生課長補佐からは山村の現状と山村振興の制度について解説し、NPO法人共存の森ネットワークの澁澤寿一理事長からは、山村振興は経済の創生ではなく社会の創生であり、経済的豊かさだけを求めるのではなく「未来の社会」「幸福」「生きがい」を皆で考えることであるという山村振興の本質に関わる講義がありました。

また岡山県西粟倉村における、間伐を推進しながら、多様な事業者の参加による木材の新しい商品開発と付加価値化、それによる若者の起業や移住の実例を上山隆治参事が紹介しました。

そして山梨県道志村で、薪ボイラーを起爆剤とした山林整備や林業の6次産業化を推進して、他地域からの移住を実現させた株式会社リトル・トリーの取組について、大野航輔代表取締役が説明し、さらに山村文化に光を当て、山村と

## 研修データ

実施時期	2月4～6日（3日間）
研修生	21名（地方公共団体、林野庁）

都市の連携による地域作りを提唱した宮林茂幸教授（東京農業大学）からは東京都世田谷区と群馬県川場村の交流についての紹介がありました。

なお山村振興等の事業計画を立てるに際して、単なる味気ない計画ではなく、地域住民や地域の人々が交流し、ハッピーになる物語を紡ぎながら事業計画を立てる物語マーケティングの手法についての演習を、株式会社さとゆめの嶋田俊平代表取締役社長の指導により実施しました。

研修生からは、「ローカルベンチャーがITを駆使して人々をつなぎ、村の良さをさらに引き出していると感じた」「物語マーケティングの手法は様々な事業立案段階においても有効であると感じた。今後活用したい」などの前向きな意見が寄せられました。

この研修が山村の活性化に向けて背中を押し、森林整備が進むことで、「山は青き故郷 水は清き故郷」となりますことを祈ります。



講義風景



物語マーケティングの作成

## 研修紹介

# 高性能林業機械 （安全指導・後期）研修

➤ 機械化指導官 野田 晋一  
教務指導官 久保 武典

## 研修データ

実施時期	1月23～24日（2日間）
研修生	17名（地方公共団体、林野庁）
実施機関	林業機械化センター

本研修は、安全かつ効率的な高性能林業機械作業について、地域において的確な安全指導ができる者を育成することを目的としています。昨年の9月に実施した高性能林業機械の特性や操作、安全な作業の指導等に係る現場実習を主体とした前期研修と、今回実施した座学による後期研修との2部構成となっており、両研修セットでの受講を前提としています。

高性能林業機械に係る安全指導を行うためには、現場における実作業に精通していることは当然ながら、指導を行う際の理論的なバックボーン等も必要となります。後期研修では、車両系木材伐出機械等の運転の業務に係る安全衛生特別教育（学科教育）に加えて、林業労働災害に係る現状と対策、関係する法整備の背景などについての講義、さらには現場指導における疑問点や問題点の解消に向けて、講師陣、研修生を交えたディスカッションを行いました。

研修生からは、「戻って自分たちが指導できるようにという観点ありがたい」「各県の問題点が分かり、今後の対応の参考となった」といった感想が寄せられました。本研修で得た知識や理論、また研修生同士のネットワーク等をいかして、研修生の皆様が各地域における林業労働安全に一層寄与されることを期待しています。



ディスカッションの様子

## 研修紹介

# 木材産業・木材利用 (実践) 研修

➤ 教務指導官 坂之上 勲太

本研修は、木材産業の振興と木材利用の実需拡大を図るため、木材の加工・流通、木造公共建築物等に関する最新の動向、知識及び技術を習得させ、地域の木材産業等に係る課題を解決できる者を育成することを目的に実施しており、研修生は、府県、市、公社、森林管理局とさまざまな機関から受講しました。

5日間の研修のうち3日間は、木材産業の現状と課題からはじまり、丸太の流通、JAS規格・制度、木造建築物の法令等についての座学を行い、残りの2日間は株式会社キーテックのLVL工場、中国木材株式会社の大規模集成材工場等の見学を行うなど座学と現地見学のバランスを考慮した研修を行っています。今回の研修生は、モチベエ

## 研修データ

実施時期 1月27～31日(5日間)

研修生 17名(地方公共団体、林野庁)

ションが高く、主体的に受講していたこともあり、講師への質問を矢継ぎ早に行うなど研修生にとっては満足度が高い研修となったようです。

また、今年度に新たに組み込んだ森林パートナーズ株式会社の「木材のサプライチェーンマネジメントの取組」の講義については、「木材利用を推進するために、QRコードなどを活用した木材の生産から出荷までの情報の管理や可視化の重要性が高まると見込まれ、業務の参考になる」との声が寄せられるなど好評でした。

研修生が、この研修をきっかけにして、地域での木材利用の推進と木材産業の発展に向け、それぞれの職場で研修の成果を活かして活躍することを願っています。



講義の状況



工場見学時に見えた富士山(R2.1.29)



国産材LVLを構造材として使用した公共木造建築物の見学

## 研修生からの感想

## 兵庫県立農林水産技術総合センター 藤本 千恵さん

私は木材担当1年目として研修に参加させていただきました。業務では木材の試験研究に携わっており、どのように山元へ利益を還元するか、減っていく製材工場を救う方法はないか、どうすれば兵庫県産木材の利用を増やせるか、といった課題を持っています。

今回の研修では、現場の第一線で活躍されている講師陣からの講義を受けることができ、現場の“生の声”を聞かせていただきました。また、キーテックや中国木材といった木材業界の大手の工場を見学させ

ていただくこともできました。他の研修生の方とはお酒を交えながら懇親を深め、情報の交換をさせていただきました。

私は今回の研修の中で、上記した課題の解決に直結する提言を多く得ることができました。例えば、難しいと言われている山元と木材のユーザーをつなぐ方法は数名の講師の方が例を提示して下さいました。今回の研修で得られた内容は、今後の業務に積極的に活かしていきたいと考えています。

## 人事異動 | 4月からの新任者

森林技術総合研修所長	大政 康史
首席教務指導官	田口 秀実
総務課長	山崎 敬介
林業機械化センター所長	入澤 和彦
教務指導官	藪 弘道 新井田 和彦 佐宗 等征
総務課	会計係長 小野 智子 行政専門員 東 睦弘
技術研修課	研修企画官 牧野 みほ 実施係長 関谷 麻美
経営研修課	研修企画官 浅浦 宏美 実施係長 中西 誠

FTI News | No. 92

林野庁 森林技術総合研修所

〒193-8570 東京都八王子市廿里町(とどりまち)1833-94

TEL | 042-661-7121(総務課) / -3560(教務指導官室)

-3565(技術研修課) / -3567(経営研修課)

URL | [https://www.rinya.maff.go.jp/j/kensyuu/kensyuu\\_zyo.html](https://www.rinya.maff.go.jp/j/kensyuu/kensyuu_zyo.html)

林業機械化センター

〒378-0312 群馬県沼田市利根町根利1445

TEL | 0278-54-8332

URL | [https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikai/kikai\\_ka\\_senta.html](https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikai/kikai_ka_senta.html)